

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		部課コード		050900	2944-2113			
事業コード	柳瀬公民館施設提供事業			担当部課	柳瀬まちづくりセンター			
050904	柳瀬公民館施設提供事業				グループ コミュニティ推進・公民館グループ			
開始年度		昭和46	年度	終了年度	年度			
事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	第4次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則			
	関連・類似事業	コミュニティ施設提供事業(コミュニティ推進事業)						
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 社会教育	基本方針	公民館機能の充実			
事業開始の背景	昭和24年社会教育法が制定され、公民館において、その設置目的達成のため、實際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を行うこととされている。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	集団による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の知識、教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	342,564			
	市民			平成 27 年度	343,067			
事業の具体的な内容及び実施方法								
施設の利用申請にあたっては、平成18年度の新予約システム導入により、ロビー端末機・インターネットに加え、携帯電話による利用予約手続きが可能となっている。また、予約の際は利用機会の拡大を図るため、一定の利用期限(時間的制限)を設けている。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	当初予算			28,636	28,428	27,947		
	決算(見込み含む)			28,670	24,927			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.30 人)	(2.70 人)	(0.30 人)	(2.70 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	0.85 人	7,413	0.85 人	7,361			
	事業費合計		36,083		32,288			
財源内訳	一般財源		33,695	29,928	23,743			
	国・県支出金		0	0	0			
	その他(受益者負担金)		2,388	2,360	4,204			
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	年間利用可能区分数(公民館)	1日6区分×部屋×開館日数(月曜日 は4区分)	回	13,338	13,670	13,750	
		年間利用区分数(公民館)	年間延べ利用区分数	回	4,486	4,813	5,500	
		年間利用区分数(地区体育館)	年間延べ利用区分数	回	3,370	3,182	3,300	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	%	目標値	50	40	40
				%	実績	34	35	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」 縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	68	88	どちらかを チェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	正面玄関につながる階段の照明が暗かったため、あらたに外灯を設置した。輪止めがない駐車スペースに輪止めを設置し安全を確保した。			活動停止となったサークルがあり、利用日数が減ったため。				
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	安全で利用しやすい施設環境を整えていく。			
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	施設備品が傷み、修繕・買い替えが必要な箇所があり、利用者に快適に施設を利用してもらうためには最低限現状どおりの予算の確保が必要である。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	今年度施設が建てられてから20年が経過し、不具合が生じている箇所もあり、施設の点検を徹底して行っている。			施設に不具合が生じたら速やかに施設修繕を行う。また施設の貸し出しについて他館と情報共有を行い、施設ごとで貸し出し基準の相違が起こらないようにする。				
評価日	H28.8.18		評価者職氏名	課長 鈴木明彦				
環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動		規制を受ける環境法令等		緊急事態	